

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 21 日現在

機関番号：13401

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20520119

研究課題名 (和文) デイヴィッド・チューダーの演奏実践とその思想

研究課題名 (英文) David Tudor's Performance Praxis and Philosophy

研究代表者

澁谷 政子 (SHIBUYA MASAKO)

福井大学・教育地域科学部・准教授

研究者番号：90262253

研究分野：音楽学

科研費の分科・細目：芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：音楽美学、アメリカ実験音楽

1. 研究計画の概要

本研究は、アメリカ実験音楽および前衛音楽の展開において重要な役割を果たしたデイヴィッド・チューダー (1926～1996) の活動を、資料調査によって実証的に跡づけ、それに基づき彼の演奏実践の実態と思想を説明することを目的とする。

(1) 一次資料の調査

ロサンゼルス・ゲッティ研究所が所蔵する David Tudor Papers を中心に、プログラム、楽譜、書簡、メモ類等を調査し、それらの資料の分析、解読をおこなう。

(2) 二次資料の収集

チューダーの著述やインタビュー、チューダーに関する研究論文等、演奏会評をはじめ、ニューヨーク前衛芸術運動全般に関わる基本文献を収集し、チューダーの音楽活動を取りまいていた文化状況を把握する。

(3) データベースの構築

上記から得られた情報をデータベース化し、チューダーの活動の実態を分析する基盤とする。

2. 研究の進捗状況

(1) 平成 22 年度末までに、ゲッティ研究所を 4 回訪問し、資料収集にあたった。その他、バーゼルのパウル・ザッハー財団で書簡数点とチューダーの作曲の師 S. ヴォルペの《Battle Piece》の手稿譜、シカゴ、ノースウェスタン大学図書館所蔵の John Cage Collection から関連書簡数十点を閲覧した。

(2) 出版されたチューダー自身の著述はきわめて少数であるため、CD のライナーノーツやインターネット上で公開されているイン

タビュー等も収集の対象としている。関連博士論文、雑誌論文等については主要なものは収集済。New York Times の関連記事は現在約 130 点を手入しているが、記録としての性格のものが大半である。その他、ブラック・マウンテン・カレッジ関連文献、前衛演劇関連文献を現在収集中。

(3) データベースには、演奏活動、創作活動、書簡等、時間軸で整理可能なものを中心に、現在約 2400 件の情報を入力済。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

理由

資料の収集とデータベース化については、ほぼ予定通りに進行しており、チューダーの音楽活動の概要についてほぼ全体像を把握できる段階に来ている。しかし、個々の出来事の経緯や背景に関する分析・考察に多少の遅れがある。David Tudor Papers に含まれる一次資料は膨大かつ多岐にわたっている。そのため、分析考察に入る以前に、まず大量の資料を解読する作業が必要であり、この段階で予想以上の時間を要しているのが現状である。

4. 今後の研究の推進方策

現在収集済のデータの解読は引き続き進める。本研究の目的の一つは、個々の細かい事実を積み重ねることによって、チューダーの音楽生活の実態を把握することであり、この作業自体が研究の基盤となるからである。一方、考察の範囲は 1960 年代までに絞り、

チューダーの音楽実践におけるピアノ演奏と電子音響構成との連続性を焦点に分析をすすめることを予定している。したがって、平成 23 年度夏に予定している David Tudor Papers の調査は、この論点に関する資料の再確認もしくは不足部分の調査に絞り効率的に行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

① 澁谷政子 プログラムからみるデイヴィッド・チューダーの音楽活動、福井大学教育地域科学部紀要第VI部芸術・体育学 音楽編、39 巻、1-15 頁、2009、査読無

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕